

# 第8号



ニュース

ニュース

### \*加盟団体\*

- ・NTT西日本広島 ソフトテニスクラブ
- ・サンフレッチェ広島
- ・JTサンダーズ
- ・湧永製菓
- ・広島メイプルレッズ
- ・広島ガスバドミントン部
- ・中国電力陸上競技部
- ・コカ・コーラウエスト レッドスパークスホッケー部
- ・広島東洋カープ

### ■広島カープ ドラフト指名選手■

順	選手名	Pos・所 属	年齢	投打	身長	体重
①	今村 猛	投・長崎・清峰高	18	右右	182	85
②	堂林 翔太	内・中京大中京高	18	右右	183	80
③	武内 久士	投・法大	22	右右	185	95
④	庄司 隼人	内・静岡・常葉橋高	18	右左	175	70
⑤	伊東 昂大	投・岩手・盛岡大付高	18	左左	186	80
⑥	川口 盛外	投・王子製紙	24	左左	173	79
《育成ドラフト指名選手》						
①	永川 光浩	投・龍大	22	左左	189	78
②	中村 亘佑	捕・横浜商大高	18	右右	180	80

# 夢の女王お預け

全日本女子ホッケー選手権



## 悔しい2年連続準優勝

### 《コカ・コーラウエストの成績》

- ▽1次リーグA組
- 3 (1-0、2-0) 0山梨学院大
- 3 (1-0、2-0) 0南都銀行
- 2 (0-1、2-0) 1立命大
- ※A組順位 ①コカ・コーラウエスト3勝②山梨学院大2勝1敗③南都銀行1勝2敗④立命大3敗
- ▽決勝
- 0 (0-1、0-0) 1ソニー一宮

ホッケーの全日本女子選手権は20から4日間、奈良県天理市の親里ホッケー場で開かれ、初優勝を目指したコカ・コーラウエストは決勝でソニー一宮と前回に続いて対戦。前半終盤の失点のがね返せず0-1でまた敗れ、夢の女王の座はお預けとなった。



プロ野球ドラフト会議は10月29日に行われ、カープは育成選手を含め8人を指名。11月中旬までに全選手と仮契約した。

目玉は今春の選抜優勝の清峰高の今村、今夏の選手権優勝の中京大中京高の両投手の指名。春夏の甲子園優勝投手が同じチームに指名されたのは、春夏連覇のシーズンを除いて65年にドラフトが始まってからは初めてのことになる。

今夏の選手権で投打に活躍、43年ぶりの優勝に貢献した堂林は、プロ入り後は投手でなく、内野手としてプレーすることになる。

育成ドラフトでは2選手を指名したが、1位で指名した龍大の永川光浩投手は、現在カープで活躍する永川投手の弟。兄弟でカープの優勝奪回に貢献できるか、今後のプレーが楽しみだ。

## 春・夏V投手指名 ドラフト 育成含め8人

## ベストナインに東出選出 2年連続2度目の受賞

プロ野球の表彰選手が18日発表され、カープからは東出輝裕二塁手が選ばれた。東出選手の受賞は昨シーズンに続いて2度目となる。



### プレミアム

### 5日地元開幕

### 乗客作戦も展開

プレミアリーグは12月5日開幕する。JTは地元でFC東京、大分三好と2連戦、好ダッシュが期待される。一方、電車広告やチラシを配り乗客作戦を展開した。



市内電車は側面2カ所に徳元主将や小川選手らの写真をあしらひ、沿線の人たちに開幕戦をアピールしている。

21日には18人の選手が広島駅前や八丁堀など3カ所で観戦を呼びかけるチラシを配った。3シーズンぶり地元開幕戦のPRで初めての試み。「いよいよ激戦開幕」を書かれたチラシ6千枚を用意した。山下GMは「観客が増えることを楽しみにしている」と効果を期待していた。

## J1 3位内ならず



J1リーグは残り2試合と大詰め。サンフレッチェは21日、地元での名古屋戦をスコアレスドロー、3位内が消えた。しかし、天皇杯の結果次第では4位にACL出場権が回ってくるため、さっそく目標を切り替え、残り2試合に全力を上げる構えだ。12月5日には最終戦がビッグアードであり、京都と対戦する。サポーターの大集結であと押しをしたいものだ。

佐藤寿 代表ゴール エース佐藤寿が18日、香港でのアジア杯最終予選A組の香港戦で06年8月のイエメン戦以来となる代表戦4得点目を挙げた。

後半15分に交代出場、相手ディフェンスの裏に積極的に走りチャンスを出した。そして30分、遠藤の左からのクロスに頭で合わせた。南アW杯代表へのアピールになった？

バドミントンの日本リーグ女子2部は21日から3日間香川県坂出市立体育館で行われ、広島ガスは6勝1敗で2位となり、1部最下位との入れ替え戦出場をのがした。

初日2勝と好スタートだったが、2日目の日本ユニシスに逆転負けしたのが響き、あと4試合負けなしながら、1位を日本ユニシスに譲った。



惜しくも2位  
バド2部

# 中国実業団駅伝

中国電力  
陸上競技部

## 《中国実業団駅伝 成績》

- ① 4時間12分25秒
  - 1区 尾崎 輝人 37分02秒
  - 2区 田子 康宏 27分09秒
  - 3区 伊達 秀晃 38分26秒
  - 4区 白浜 三徳\* 24分35秒
  - 5区 佐藤 敦之\* 30分27秒
  - 6区 田中 宏樹\* 54分45秒
  - 7区 油谷 繁\* 40分01秒
- (注) \*は区間賞

中国実業団駅伝は15日、世羅高を発着点とする7区間、82.8\*のコースに12チームが参加して行われ、中国電力が4時間12分25秒で13年連続14度目の優勝を飾った。出走でつまずいたが4区以降が連続区間賞の快走で6区でトップに立った。MVPには田中宏樹が選ばれた。

元日のニューイヤー駅伝(群馬県前橋市)には中国電力のほか、JFEスチール、マツダ、中電工の4チームが出場する。中国電力は07年いらい3度目の優勝にチャレンジする。

# ニューイヤーへいざ出陣

## 国際千葉駅伝

国際千葉駅伝は23日、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場を発着点に6区間、42.195\*で行われ、日本が2時間5分58秒で優勝した。中国電力の佐藤は5区(10\*)で28分57秒の区間賞の走りで見せた。

また、男子の最優秀選手にも選ばれた。

# 佐藤、貫禄の男子MVP

## 県実業団駅伝はBチームが優勝

県実業団駅伝は10月25日、岡山県笠岡陸上競技場を発着点に6区間、45.62\*のコースで行われ、中国電力は2年連続13度目の優勝をした。

A、B2チームが出場、5区で首位に立ったBチーム(本多、田子、田中、白浜、岡本、伊達)が2時間13分27秒で優勝。Aチーム(油谷、新井、森政、尾崎、沖野、梅木)は2時間14分22秒で3位だった。

## LEOLIC



日本リーグは正念場を迎え、プレーオフをにらむ広島勢の戦いに注目だ。

男子の湧永製薬は現在4勝1分け2敗の5位。しかし、2位との勝ち点差はわずかに4。しかも試合数が1試合少ないだけに、上位進出の可能性は十分。2巡目が始まる今後の戦いが楽しみだ。好不調の波を少なくしたい。

女子のメイブルレッズも年内の試合を終えて5位。オムロン、北国銀行、ソニーの3強にどう立ち向かうか。残り6試合、一つも落とせないきびしい戦いが続く。

# プレーオフへ正念場

## 日本リーグ広島勢

## 3年目コンビ 植垣・新城 世界選手権代表



植垣 新城

ハンドボールの女子世界選手権は12月5日から中国・江蘇省で開かれるが、メイブルレッズから3年目の植垣暁恵、新城明奈が出された。植垣は2度目、新城は初めての出場。

大会は24カ国が出場、4組に分かれて予選リーグを行う。日本はノルウェー、ルーマニア、ハンガリー、チュニジア、チリと同じC組。3位以内が2次リーグに進む。日本はスペインで直前合宿を張り6試合を消化した。植垣は14得点、新城は12得点と好調な仕上がりを見せた

## \*ロゴマークの意味\*

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。

ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



# 日本L V6逃す

日本リーグは10月23日から3日間広島グリーンアリーナで開かれ、史上初の6連覇(15度目)を狙ったNTT西日本広島男子は、優勝した京都市役所、2位の大鹿印刷と5勝2敗で並んだが、当該チーム間の対戦成績で劣り、3位となった。

## 高川が100戦連続出場

中堀とペアを組んで15年目、37歳の高川が初日2試合目の宇部興産戦でリーグ100試合連続出場の快挙を達成した。前回のリーグで達成した中堀に次いで史上2人目。前衛としてボレーを要所に決め白星でメモリアルを飾った。

## 女子は終盤失速、5位

3年ぶり4度目の優勝を目指した女子は終盤3連敗で5位に終わった。

▽男子

- 2-1川口市役所、○2-1宇部興産、●0-3大鹿印刷、○3-0東邦ガス、●1-2京都市役所、○2-1枚方信用金庫、○2-1トヨタ自動車

▽女子

- 2-1NTTドコモ四国、○3-0ナガセケンコー、○2-1京都中央信用金庫、○3-0阿波銀行、●0-3東芝姫路、●0-3ヨネックス、●1-2ワタキューセイモア

## 男子は上位独占、女子は1位

中国オープン大会 東洋観光カップ中国オープン大会が23日、広島市中央コートで開かれ、男子は水澤・森本組が優勝、2位に中堀・高川組、3位に岩永・岩崎組と館越・原組が入り3位までを独占した。

女子は三好・大庭組が1位となり、熊鳥・水間組が2位、埴田・伊東組が3位だった。

井ノ口杯全国大会は3日、福山市の竹ケ端運動公園庭球場で開かれ、男子は水澤・森本組が中堀・高川組を下し、館越・原組、堀・岩崎組は3位。女子は埴田・山本組、榎本・大庭組、三好・前道組が準決勝、熊鳥・水間組は3回戦で涙を飲んだ。

## 韓国農協杯

韓国農協杯は9日から7日間、慶尚北道亀尾市で韓国や台湾、モンゴルなどが参加して開かれた。来年のアジア大会の前哨戦としても注目されたが、女子の佐々木・大庭組が優勝、男子の中堀・高川組は惜しくも準優勝だった。シングルスは中堀、大庭とも予選で敗退した。

佐々木・大庭組が優勝  
男子 中堀・高川組は2位

## 地域イベント参加、住民と輪広げる



安佐区民まつりが1日、安佐区民文化センターなどで開かれ、コカ・コーラウエストレッドスパークスと湧永製薬の選手らが参加した。あいにくの雨模様でハンドボール体験コーナーは取りやめたが、ホッケー体験ではシュートなどで市民と交流を深めた。

安佐区民まつり

## ひろしま国際平和

### マラソンで快走

11月3日、コカ・コーラウエスト広島スタジアムを主会場にひろしま国際平和マラソンが行われトップスから広島カープ、湧永製薬、中国電力、コカ・コーラウエストレッドスパークスの選手らがゲストランナーとして参加、日ごろ鍛えた健脚ぶりを披露、市民ランナーと和気あいあい、楽しいひとときを過ごした。

キッズ(約1\*)ピギナー(約5\*)チャレンジ(約10\*)の3コースに分かれ、大会盛り上げにひと役買った。また、トークショーでも多くの参加者と浴け合い触れ合いの輪を広げた。

